

大学

文学部 国文学科

国文学文献講読演習(6)b

竹内瑞穂 准教授

「対話」を重視した文学研究により、
物事を多面的に捉える力を養います。

「『あたりまえ』から抜け出し、新しい見方で作品を読み解く。こうした文学研究をめざして、学生一人ひとりの柔軟な考察や積極的な発言を促しています。そう語る竹内先生は、ゼミにおいて学生の主体性を尊重し、活気にあふれる研究活動を支えています。授業で扱われるのは日本の近代小説です。個々が興味のある作品を取り上げ、物語の世界観、作家のメッセージ、表現手法の特徴などについて独自の解釈を見出そうと調査・分析。その研究成果をゼミで発表し合い、ディスカッションを通して、仲間の意見に新たな気づきを得ながら考察を深めます。『仲間との対話、作品との対話に力を注いで視野を広げ、物事を多面的、論理的に考える力を身につけてほしい』と竹内先生は期待を寄せて、学生が研究活動を通して成長できるよう後押ししています。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

大学

ビジネス学部 ビジネス学科

専攻入門ゼミ(グローバルビジネス)

石坂 綾子 教授・真田 幸光 教授・
三矢 幹根 教授・久保田 絢 講師

海外での事業計画を立案し、
グローバルビジネスの実践的な
学びを深めます。

ビジネス学部では、1年次後期から専攻別の学びを導入し、社会で活躍する専門性を段階的に養っています。その第一歩が「専攻入門ゼミ」です。グローバルビジネス専攻では、外部講師を招き「ダイバーシティとビジネス」「世界の働き方」「グローバル人材論」への理解を深めました。特に実践的だったのが、海外事業の立ち上げを体験するワークショップ。東南アジアをターゲットにした新規ビジネスプランの立案に、学生主体で取り組みました。各国の人口やGDPなどをふまえ、事業を行う国、事業の概要、ビジョンなどについてグループごとに議論。事業計画書の作成・発表を通して、学生たちは「世界の多様な価値観を持つ人々と共に働くための国際的な視野の重要性を感じ、グローバルビジネスの学びへの意欲を高めました」。

